木造モダニズム展 第 5 回

三里塚教会物語と吉村順三展

―時代を越えて生き続ける小さな木造教会―

展示会期：2013 年 11 月 1 日（金）-2014 年 1 月 23 日（木）

謹啓　　時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ギャラリーエークワッドでは、2013 年 11 月 1 日から 2014 年 1 月 23 日まで、木造モダニズム展第 5 回『三里塚教会物語と吉村順三展ー時代を越えて生き続ける小さな木造教会ー』を開催致します。
ギャラリーエークワッドでは、日本独自の世界が広がる木造モダニズムをテーマにした建築展として、「坂倉準三 / 前川國男 / 木造モダニズム展」(2008 年)、「聴竹居」と藤井厚二展」(2009 年)、「札幌聖ミカエル教会」とアントニン・レーモンド展 (2010 年)、「日土小学校と松村正恒展」(2011 年) を開催してきました。今回 5 回目となる木造モダニズム展は、木造の小さな教会「三里塚教会」を取り上げます。

「三里塚教会」（1954 年）は、成田市三里塚・芝山地区に現存する吉村順三の初期の知られざる作品のひとつで、成田空港建設の三里塚闘争の大きな波に呑み込まれながらも、現在も教会として存在する歴史的にも意味のある建築です。三里塚・芝山地区には御料牧場があり、第二次世界大戦後、満州などの大陸からの引揚者が主体となって農地開拓を進めた土地です。彼らが農民としての再起をかけて行った開拓がようやく軌道に乗り始めた 1966 年に、国際空港の建設計画地となり、空港計画が推進されました。それに対抗して反対同盟が結成され、「三里塚闘争」が始まります。

この教会は、クリスチャンで教会の信徒であった戸村一作（後に反対同盟のリーダーになる）が、決して豊かとは言えない生活の中、コミュニティの住民から寄付を募り建設した教会です。この教会は農民達の集会所として使われ、云わば大家族のリビングの様な空間でした。設計の依頼を受けた建築家吉村順三は、戦後間もない資材が不足する中で、いかにして、心を豊かにする祈りの空間を作り出すかということに精神を注ぎました。（設計案には鐘楼がありましたが予算不足のため、鐘楼は完成したものの鐘そのものはついに取り付けられませんでした。）吉村順三の想いのこもったこの教会は、建設後約 60 年経った現在でも、人々の祈りの場、憩いの場として大切に使われ続けています。

吉村順三（1908ー1997）は、東京・本所の呉服商の家に生まれ、東京美術学校（現 東京藝術大学）で建築を学んでいます。1931 年に卒業後、学生時代から既に出入りしていたアントニン・レーモンド事務所に入所し、モダニズム建築を体得する一方で、アントニン・レーモンドに日本建築の精神を教えたと言われています。1941 年には吉村順三設計事務所を開設し、1962 年に東京藝術大学教授に就任しています。師匠のレーモンド同様に日本の伝統とモダニズムの融合を図った建築家です。

今回の展覧会では、吉村順三の唯一の教会作品「三里塚教会」を初めて紹介し、戦後日本を支えた建築家が、日本を立て直し、より豊かな社会を作り出す気運と責任に満ちたデザインしていたこと、また、簡素でありながらも豊かな空間造りを生涯にわたって探求した吉村順三の想いについてご紹介したいと考えています。これからの「日本の建築」のあり方を考えていく端緒にしていただければと思います。

この機会に是非ご来場くださいますよう、ご案内申し上げます。また、貴紙誌にてぜひ記事としてお採り上げいただきたく、宜しくお願い申し上げます。

敬 具
2013 年 9 月
公益財団法人
ギャラリーエークワッド

GALLERY A⁴

開館時間　10:00−18:00（最終日−17:00）　日祝休館 ＊土曜日年内のみ開館 ＊年末年始 12/27〜1/5　　入場無料
〒136-0075　東京都江東区新砂1-1-1　tel : 03-6660-6011　e-mail : gallery@a-quad.jp　URL : http://www.a-quad.jp/

■企画概要

展覧会名：木造モダニズム展 第 5 回
三里塚教会物語と吉村順三展ー時代を越えて生き続ける小さな木造教会ー
会　期　：2013 年 11 月 1 日（金）～ 2014 年 1 月 23 日（木） 年末年始休み 12 月 27 日～ 1 月 5 日
＊土曜日 2013 年内のみ開館（11/2、9、16、30、12/7、14、21・計 7 回）
会　場　：Gallery A4（ギャラリーエークワッド）
〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1 竹中工務店東京本社 1 階
開館時間：10:00 ～18:00（最終日は 17:00 まで）
休 館 日：日曜・祝日　＊2014 年 1 月の土曜日 ＊年末年始 12/27 ～ 1/5 休館
入 場 料：無料
主　催　：公益財団法人ギャラリーエークワッド
協　力　：吉村順三記念ギャラリー、脇田美術館、E. カニングハム記念（社団法人）青少年音楽協会、
東京藝術大学大学美術館ほか
お問合せ：ギャラリーエークワッド事務局　担当：岡部三知代　03-6660-6011
E-mail　：gallery@a-quad.jp　Gallery A4 公式サイト：http://www.a-quad.jp

■展示概要

日本の木造モダニズムを代表する建築家・吉村順三（1908-1997）の「三里塚教会（1954 年）」を取り上げる。教会が建てられた時代背景と物語を追いながら、それぞれの建築が生まれた施工当時の時代の波と、現在の姿を写真と映像をもとにたどる。その他、吉村順三の代表作である「軽井沢の山荘」・「脇田山荘」なども新たに撮り下ろした写真や設計資料や建築模型からその魅力を紹介する。

■関連イベント

●基調講演・対談

日　　時　：2013 年 12 月 20 日（金）18：00-20：00
会　　場　：竹中工務店東京本店 2 階 AB ホール（東京都江東区新砂 1-1-1）
定　　員　：先着 150 名、参加無料
申　　込　：HP の申込フォームよりお申込みください。（http://www.a-quad.jp）

〈スケジュール〉

1. 基 調 講 演「簡素で豊かな空間創造ー吉村順三の想い」 18：00 -19：00
講　　師　：松隈洋（建築史家、京都工芸繊維大学教授）
2. 対 談　「吉村順三の建築の魅力」 19：00 -20：00
パネラー　：下重暁子（作家、元 NHK アナウンサー）
松隈洋（建築史家、京都工芸繊維大学教授）

●見学会「成田・三里塚教会」

日　　時　：2013 年 11 月 9 日（土）14：00 - 15：00
定　　員　：30 名
集合・解散：現地集合、現地解散（詳細は参加決定者に連絡いたします。）
教会所在地：〒286ー0111　千葉県成田市三里塚 47-2
申　　込　：HP の申込フォームよりお申込みください。（http://www.a-quad.jp）

●関西巡回展

日　　時　：2014 年 4 月 -5 月予定
会　　場　：京都工芸繊維大学 美術工芸資料館（〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町）
詳細未定、ギャラリーエークワッド事務局までお問い合わせください。

■吉村順三　略歴

よしむらじゅんぞう・1908年(明治41年)9月7日、東京市本所区緑町の呉服店に生まれる。1921年『住宅』誌主催の「小住宅設計懸賞」に2案応募、入選と選外佳作に。1923年関東大震災で自宅が全焼。1926年東京府立第三中学校(現都立両国高校)卒業後、東京美術学校(現東京藝術大学)建築科へ。在学中からレーモンド建築設計事務所で働き始める。1940年アントニン・レーモンドのアメリカ事務所で働くため渡米。1941年日米開戦の直前に帰国し、吉村設計事務所開設。1954年ニューヨーク近代美術館の中庭に書院造りの日本建築を設計。1956年国際文化会館の共同設計で日本建築学会賞受賞、ニューヨークの一連の作品でパーソン賞受賞。1960年皇居新宮殿の設計を委嘱される。1962年東京藝術大学建築科教授に就任。1972年ジャパンハウスでニューヨーク建築家協会デザイン優秀賞受賞。1975年奈良国立博物館で日本藝術院賞受賞。1982年勲三等旭日章受章。1989年八ヶ岳高原音楽堂で毎日芸術賞受賞。1994年文化功労者。1997年4月11日逝去。勲二等瑞宝章受章。前述以外の代表作に、南台の家(自邸)、軽井沢の山荘(吉村山荘)、NCRビル、俵屋、愛知県立芸術大学、青山タワービル、山中湖の山荘(亀倉邸)、田園調布の家(猪熊邸)、ポカンティコヒルの家(ロックフェラー邸)、駐日ノルウェー王国大使館、カニンガム・ハーモニー・ハウス(軽井沢)などがある。

■イメージ画像

三里塚教会・外観　1954年竣工　成田市

三里塚教会・内観　1954年竣工　成田市

三里塚教会・外観(部分)　1954年竣工　成田市

軽井沢の山荘（森の中の家・吉村山荘）1962年竣工　軽井沢町

軽井沢の山荘B（脇田山荘） 1970年竣工　軽井沢町